

行田市 令和8年度 当初予算(案)のポイント

【凡例】

- 新** 令和8年度から新たに実施する取組
- 拡** 令和8年度から内容を拡充して実施する取組



予算編成の考え方と予算規模

令和8年度一般会計予算

324億4,000万円

(対前年度 +16億円 +5.2%)

過去最大

特別会計・企業会計を加えた全会計では、568億5,517万3,000円

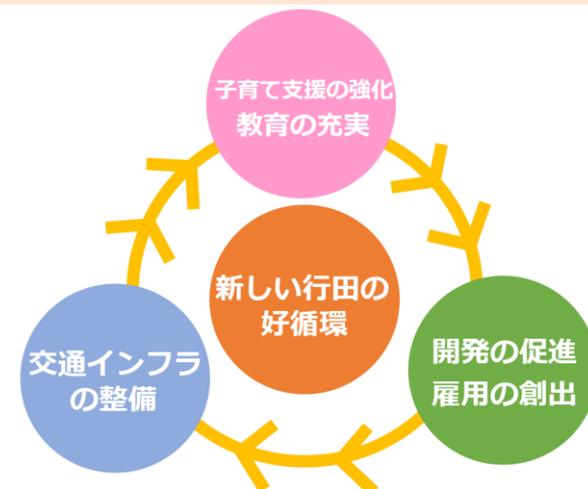
(対前年度 +25億3,119万7,000円 +4.7%)

- 基本構想計画期間の最終年として、「新しい行田の好循環」を次のフェーズに進めるための予算
- 「子育て支援の強化・教育の充実」、「開発の促進・雇用の創出」、「交通インフラの整備」の3つの重点政策を「学校再編まちづくり」として一体的かつ強力に推進
- 国庫支出金や県支出金、交付税措置のある有利な地方債などを積極的に活用し、財源を確保

各会計予算額

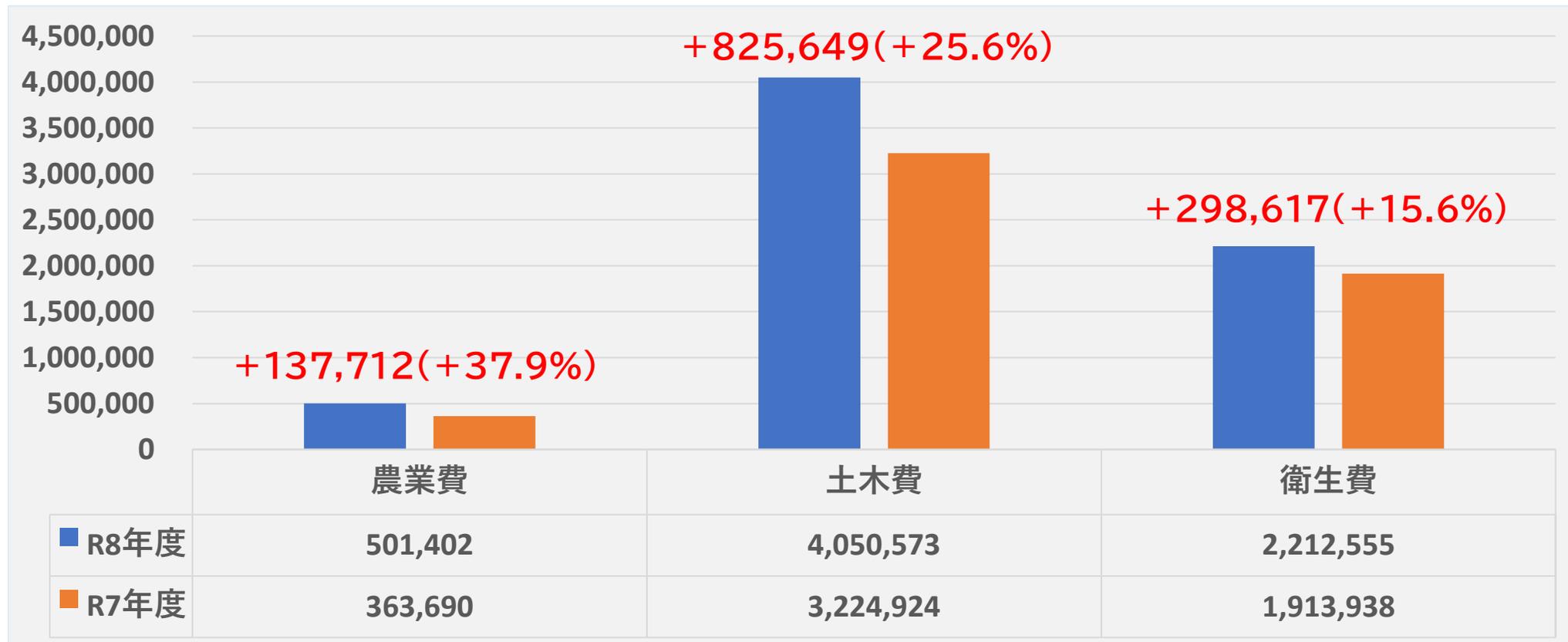
(単位：百万円、%)

会計区分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
一般会計	32,440	30,840	1,600	5.2%
特別会計	17,057	16,452	605	3.7%
企業会計	7,358	7,032	326	4.6%
合計	56,855	54,324	2,531	4.7%



「学校再編まちづくり」として一体的に推進

予算の特徴（目的別増加率上位3つ）



【農業費】見沼代用水元坎公園整備に対する交付金や農業用道路などに係る公共工事の事業費が増加したこと等から、1億3,771万2千円、率にして37.9%の増

【土木費】道路や橋りょうなどに係る公共工事の事業費が増加したことなどから、対前年度比8億2,564万9千円、率にして25.6%の増

【衛生費】新ごみ処理施設建設工事本格化に伴う行田羽生資源環境組合に対する負担金が増加したことなどから、2億9,861万7千円、率にして15.6%の増

「学校再編まちづくり」

学校再編事業

- 児童生徒数の減少
- 学力の低下 他



- 小中学校あわせて20校を質の高いカリキュラムが可能な義務教育学校3校に再編

中心市街地公共施設再編事業

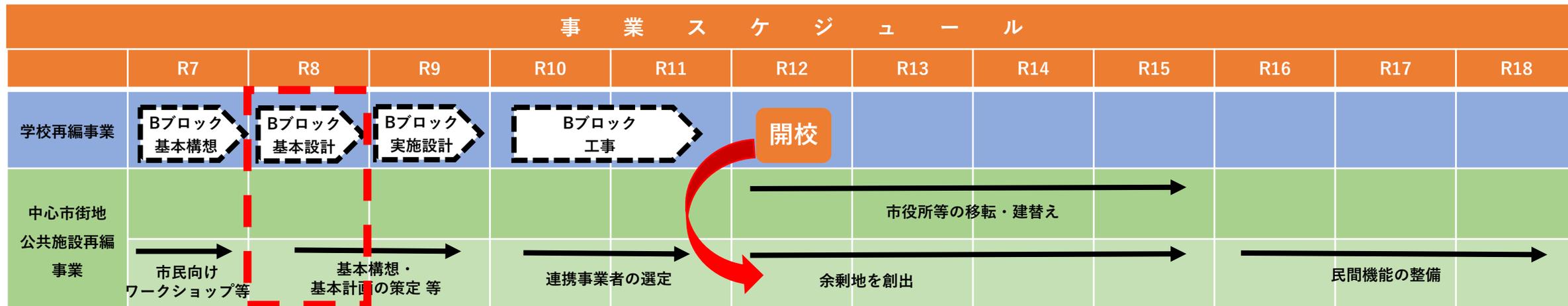
- 公共施設の分散・老朽化
- 中心市街地の空洞化 他



- 学校再編に伴い生じる跡地を対象に、民間の力を積極的に活用し、中心市街地を再生



- ✓地域公共交通の充実を図ることで中心市街地に人を呼び込む



通わせたい学校づくり



中心市街地の魅力向上



学校再編まちづくり

◆ 学校再編事業

1億8,039万1千円

「行田市義務教育学校設置に向けた再編計画」に基づき、現在ある小中学校20校をR16年度までに3校の義務教育学校に再編することを目指します。

再編スケジュール

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
B ブロック		基本構想	基本設計	実施設計	工事		開校				
A ブロック	再編計画 (骨子編) 策定	再編計画 (個別編) 策定		基本構想	基本設計	実施設計	工事		開校		
C ブロック						基本構想	基本設計	実施設計	工事		開校

課題

- ・ 想定を上回るスピードでの児童生徒数の減少
- ・ 配置教職員数も減少し、教育活動に支障



「行田の学校に子どもを通わせたい」と思える
魅力ある学校づくりで
子育て世代の移住と定住を促進

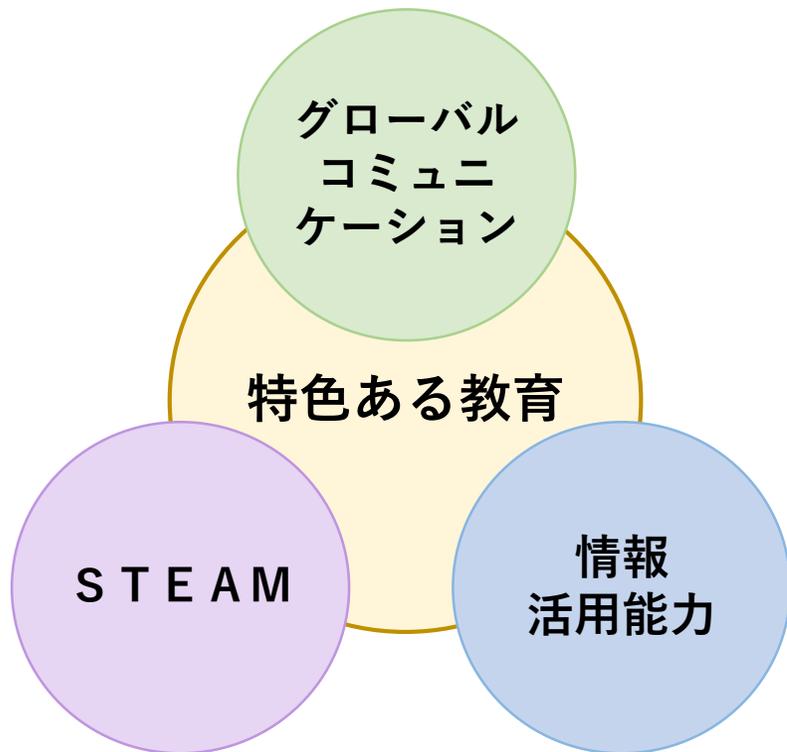


R8.1.12開催のワークショップの様子

拡 義務教育学校開校に先駆けた特色ある教育

7,887万2千円

学校再編計画における基本的な考え方「行田ならではの特色ある教育」を再編に先駆けて取り組みます。



拡 グローバルコミュニケーションを育む教育

- ・ネイティブ指導員を幼稚園に派遣
- ・英語力判定ツール（GTEC）の活用
- ・オラトリカルコンテスト(英語弁論大会)の実施
- ・英語×AI

< AI 英語学習導入校 > R7：10校⇒R8：20校



新 STEAM教育

- ・音楽創造プロジェクト
西本智実氏(日本フィルハーモニー交響楽団などで指揮)による演奏・合唱指導
- ・環境教育事業(中学校モデル校1校で実施予定)
 - ①県山間部での現地調査・生徒との交流、県産間伐材を使った製作体験
 - ②主体的に環境問題を考え、今後自分ができる行動案を発表する等、創造力や問題解決能力などを育む
- ・ふるさと学習(市内全小学校で実施)
市内足袋業者によるマイ足袋製作体験



新 情報活用能力を育む教育

- ・Webサイトの製作等を通じたテキストプログラミング能力の育成



行田市なら0歳から18歳まで切れ目なくサポート

0歳～2歳	3歳～5歳	6歳～18歳	
<p>市独自</p> <p>3歳未満児 保育料無償化</p>	<p>幼児教育及び 保育無償化</p>	<p>市独自</p> <p>朝のこどもの 居場所づくり (県モデル事業)</p>	
<p>おうち子育て支援事業 (こども誰でも通園制度)</p>		<p>小学校給食費無償化</p>	
<p>市独自 子ども医療費無償化</p>			

子育て支援「こどもまんなか」

◆ 3歳未満児保育料無償化

所得制限のない3歳未満児保育料の無償化を市独自で継続します。



1億6,456万円

新

5歳児健康診査

就学前に多職種（医師、保健師、保育士、心理士など）による健康診査で子どもの発達状況を確認し、必要な子どもには心理士による相談などを実施します。

1,538万4千円

◆ 朝のこどもの居場所づくり

小学校登校前の時間帯に子どもが安心して過ごせる居場所を設け、保護者の就労と子育ての両立を支援します。

実施日時：平日の午前7時から午前8時
利用料金：1人100円/回

✓ R8年度実施校：西小学校

195万円

拡

子どもの居場所づくり

多世代が交流できる子ども食堂の運営支援をはじめ、世代間交流の促進、新たな居場所の設立支援、学習支援に総合的に取り組みます。

652万3千円

< **栗原宣幸こどもの居場所基金**を活用した支援（一例）>

- ✓ 子ども食堂を月に複数回実施する場合の補助額拡充（1万5千円/1ヵ月 ⇒ **最大3万円/1ヵ月**）
- ✓ 新たな居場所設立に向けた工事費用や物品購入費用を支援（**全ての地域へ拡大**）
- ✓ 統括団体「行田こども居場所ネットワーク」への支援（居場所登録団体数：**14団体**）

県内トップクラス

◆ さきたま古墳公園「子どもの遊び場」整備

2,619万9千円

さきたま古墳公園内に、多世代で様々な人の憩いの場となる「屋内型遊び場」及び「外遊び場」を整備します。

市民の皆様からの声

- 「さきたま古墳公園に遊具がほしい」
- 「大人も子どももくつろげる場があったらいいのではないか」

「子どもの遊び場」

- ・ 屋内型遊び場（砂場、ボルダリング、ボールプール等）
- ・ 外遊び場（ふわふわドーム、滑り台、ブランコ、うんてい等）
- ・ 休憩スペース
- ・ 民間収益施設（飲食店）

整備スケジュール



さきたま古墳公園内の「古代の森・古代の草原」エリア（約4 ha）

◆ 中心市街地公共施設再編事業

3,051万8千円

民間活力を積極的に活用した**官民連携**により、市役所を中心とした中心市街地において公共施設再編まちづくりを進めます。

再編スケジュール



中心市街地の課題

- 人口減少による空洞化
- 公共施設の分散・老朽化
- 利便性の低さ

中心市街地の価値向上

- 公共施設を集約化
- 民間機能を誘致
- 利便性向上

官民連携



中心市街地のポテンシャルをさらに高めます

拡 スマート農業の推進

1,000万円

スマート農業技術導入等に取り組む農業者を対象に補助金を交付し、農業経営の大規模化や効率化を支援します。

<補助概要>

- 補助対象経費：ICT機器やロボット技術導入 他
- 補助率：1/2（上限額100万円）

<R8年度見直し事項>

- ✓ 畦畔撤去に係る補助額の引き上げ
(400円/m ⇒ **500円/m**) 他



◆ 農地転用許可の権限移譲

現在県が許可している4ヘクタール以下の農地転用について、令和8年4月1日から権限移譲を受け、行田市において許可することで、許可までの日数を短縮

◆ 企業誘致の促進（先行試掘調査）

297万3千円

建物の建設や開発工事に先立ち、企業誘致候補地において、埋蔵文化財（遺跡・遺物）の先行試掘調査を実施し、企業へ情報提供します。

- ✓ R8年度実施予定箇所：以下4地区
下忍、太田、埼玉、南河原

◆ 地域公共交通「マイカーだけに頼らない社会」

1億6,502万1千円

課題

高齢化の進行により自家用車での移動が困難となる住民の増加が見込まれる中、駅へのアクセス環境や地域公共交通の利便性が十分とは言えず、移動手段の確保が課題となっている。

これまでの施策

R6年度

● 乗合型AIオンデマンド交通導入



うきしろ号

● 日本版ライドシェアの導入
⇒ 夜間の移動手段確保

● シェアサイクルの導入
⇒ 市内の回遊性向上

● 高齢者の移動支援（無料）の実施

R7年度

● 乗合型AIオンデマンド交通本格運行
(指定乗降場所追加・予約締切時間の短縮などの見直しを実施)

● やすらぎの里など通いの場利用者に対する乗合型AIオンデマンド交通の片道補助開始

R8年度の施策

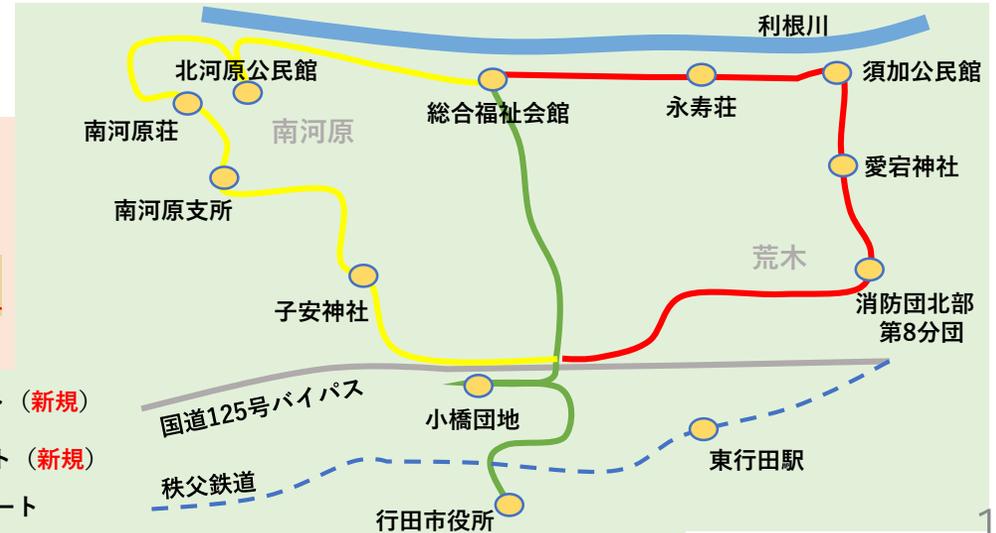
● 乗合型AIオンデマンド交通

⇒ 市民が多く利用する病院など市外乗り入れの検討

● 高齢者通いの場への移動支援の拡充 (県内行田市のみ実施)

⇒ 運行ルートの拡大 (1ルートから3ルートへ)

⇒ 実施事業者数の拡大 (3事業者から5事業者へ)



マイカーだけに頼らない社会へ

国道17号熊谷バイパス高速道路化の要望

要望活動



- 「チーム行田」での高速道路化要望
市、市議会、商工会議所、自治会連合会、PTA連合会、農業・運輸・福祉関係団体より構成
- ・ R5・R6年度：国土交通省(副大臣)へ要望
- ・ R7年度：国土交通省(大臣)へ要望予定



● 県北部地域国道17号バイパス 早期整備の要望

R7年度に新たに期成同盟会を結成

行田市、熊谷市、深谷市、本庄市より構成

- ・ 本庄道路の早期整備、深谷バイパスの4車線化
埼玉県内上武道路の4車線化



交通の目詰まり解消



ヒト・モノ・カネの
流れを生み出す

● 熊谷バイパス建設促進期成同盟会 の組織強化

行田市、熊谷市、鴻巣市、深谷市より構成

- ・ 熊谷バイパス、深谷バイパス本線部の早期事業化
- ・ 上尾道路Ⅱ期区間の事業推進 などを要望



健康づくりと福祉の充実

拡

プレコンセプションケア「一生涯を通じた健康づくり」

336万5千円

妊娠期だけでなく一生涯を通じた健康づくりと捉え、各ライフステージに応じた取組みを推進

乳幼児期向け	児童・生徒期向け	成人期向け
<p>自分の身体も周りも大切にす</p> <p>●保護者向け 『こどもの性教育研修会』の開催</p> 	<p>健康な生活習慣の獲得</p> <p>●児童・生徒向け 『性教育・生活習慣改善授業』の実施</p> <p>●小6から高1相当までの男性向け HPVワクチン接種費用助成</p> <p>✓対象ワクチン R7：ガーダシル(4価) ⇒R8：シルガード(9価)を追加</p>	<p>希望するライフデザインを描く</p> <p>●高校生・社会人向け 『ライフデザイン研修会』の開催</p> <p>●将来妊娠を希望する方向け 妊娠・出産に向けた身体づくり支援 ・管理栄養士や保健師等による面談 ・希望者へ葉酸サプリの配布</p>

乳幼児期から成人期まで一生涯を通じた先進的な取組み

◆ねんりんピック埼玉大会剣道交流大会の開催

1,616万円

「ねんりんピック彩の国さいたま2026剣道交流大会」を円滑に運営し、全国からお越しになる方々を心のこもったおもてなしで迎えます。

- ✓日程：R8年11月8日、9日
- ✓場所：総合体育館（グリーンアリーナ）



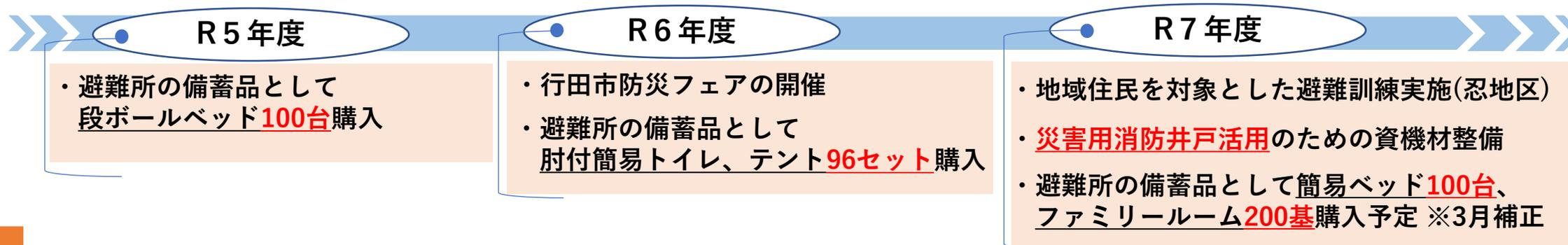
拡 防災・減災の推進

1,455万4千円

近年、全国で地震や豪雨等の自然災害が頻発・激甚化している中、防災体制の強化や市民の防災意識の向上等が課題となっていることから、防災・減災に取り組みます。



これまでの施策



R8年度の施策

- **避難訓練を市内全避難所（52箇所）において開催**
市内全域を対象とした大規模な避難訓練を一斉に開催することで防災意識の向上を図る。
- **防災備蓄品の更なる充実**
 - ・ R7年度3月補正で簡易ベッド100台、ファミリールーム200基を追加購入 ⇒ 市内指定避難所へ適正配分
 - ・ 食料、水、非常用排泄袋、毛布等の充実
- **防災士の積極的育成**
 - ・ 防災士資格取得の促進（熊谷市と共同）
 - ・ スキル向上に向けた研修会の開催
 - ・ 組織化による連携強化
 - 他

◆ 総合体育館柔道場・剣道場の空調整備

利用者の利便性向上と指定避難所としての機能強化を図るため、エアコン整備工事を実施します。

1億500万円

剣道場



柔道場



拡

地域の防犯対策

1,691万2千円

行田市における刑法犯の件数は R5：497件 ⇒ R6：584件 と増加傾向にあることから、犯罪の未然防止を目的に各種施策を実施。

住宅用防犯カメラ設置補助

市内個人宅へ防犯カメラを設置する方を補助します。

<補助内容>

- ・補助率：1/2
- ・上限額：3万円



街頭防犯カメラ等設置

市内の主要交差点等に防犯カメラ及び、注意喚起表示を設置します。

- ・防犯カメラ：20台
- ・注意喚起表示：80箇所



特殊詐欺等対策機器購入補助

振り込め詐欺等の対策機能を持つ固定電話機などの購入を補助します。

<補助内容>

- ・補助率：1/2
- ・上限額：1万円



- ✓ 防犯カメラ設置台数の拡充 (R7年度： 5台 ⇒ R8年度： 20台)
- ✓ 注意喚起表示設置箇所の拡充 (R7年度：25箇所 ⇒ R8年度：80箇所)

新

自治会DXの推進

26万4千円

自治会活動のデジタル化を支援するため「自治会DXアドバイザー」を派遣し、運営の効率化や負担軽減を図ります。

<支援内容例>

- ✓自治会連合会ホームページ作成支援
- ✓LINEなどを活用した情報共有

新

証明書コンビニ取得の促進

676万円

端末操作への不安などにより利用が伸び悩む証明書のコンビニ交付について、市庁舎にマルチコピー機を設置し、コンビニ交付と同様の取得体験の機会を設けることで、コンビニ交付の促進及びDX、行政事務の効率化を図ります。

<カンタン！便利！コンビニ交付>

- ✓来庁不要
- ✓待ち時間が短い
- ✓手数料がお得

市民の利便性向上

<取得可能な証明書と手数料>

証明書	コンビニ	窓口
住民票の写し	150円	200円
印鑑登録証明書	150円	200円
所得課税証明書	150円	200円
戸籍謄本・抄本	400円	450円
戸籍の附票	150円	200円

拡 住宅改修資金の助成

R7年度：1,000万円 **1,400万円**

市内事業者を活用した住宅改修工事に要する費用の一部を補助することにより、市内事業者の利用促進を図るとともに、地域経済の活性化につなげます。

<補助概要>

- 補助対象経費：市内施工業者が行う住宅改修工事費
- 補助率：工事費用の5%（上限額10万円）

これまでに得られた経済効果

	R5年度	R6年度	R7年度(見込)
補助件数	161件	210件	207件
経済効果	2億4,620万円	3億4,704万円	3億819万円

◆ 若者の移住・定住促進

1,769万8千円

若者の移住・定住促進に向け、奨学金返還支援（最大3年間）を実施するとともに、移住・定住コンシェルジュの配置や移住サイトの運営を通じて、相談・情報発信体制を強化します。

<奨学金返還支援制度概要>

- 補助対象者：奨学金を返還中で30歳以下の方
- 補助上限額：12万円/年(申請年度から最大3年間)



移住定住促進・住環境の充実

拡 クビアカツヤカミキリ対策

R7年度：2,643万3千円

4,896万4千円

集中対策強化期間の2年目となるR8年度は**予算を大幅に増額**。防除対策や薬剤の樹幹注入・散布、クビアカツヤカミキリ対策補助金、被害樹木の伐採など、取組を加速します。



対策のポイント

R7年度

- ・被害木の把握と計画的伐採
- ・「よみがえれ！行田の桜プロジェクト」による植樹

R8年度

- ・防除対策、薬剤の樹幹注入、散布
- ・クビアカツヤカミキリ対策補助金、被害木の伐採

R9年度

- ・残存被害木の徹底伐採

新 有償ボランティアによる除草作業助成

18万円

年々増加する除草要望に対応するため、景観の向上や道路・水路等の機能確保を図るため、地域環境の保全に取り組む個人の除草活動を支援し、市民の方々の主体的な参加を通じて、地域の連帯感と地域力の向上を図ります。

- ✓草刈機の持ち込み1台につき1,500円
- ✓個人・組織の除草活動に対して助成
- ✓個人のスキマ時間で活動できる

< 除草に関する予算額 >

R7年度：5,676万2千円

R8年度：6,051万円



それでも足りない
要望に応えきれない

観光まちづくり

◆ 古代蓮の里リニューアル

3,000万円

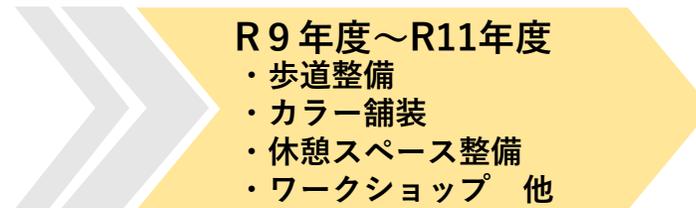
市内随一の観光施設である古代蓮の里を「稼げる観光施設」へリニューアルするため、新たな運営方針の検討・決定を行います。



◆ まちなかウォークブル推進

6,250万円

行田らしい景観を生かした、居心地がよく歩きたくなるまちなかを目指します。



新

水城公園しのぶ池の水をぜんぶ抜く！！ ～お掃除大作戦～ 6,790万円

しのぶ池の水質改善を図るため、クラウドファンディング等を活用し、水抜きや清掃イベントを実施します。

しのぶ池の現状

- 藻や水草が大量発生し、池周辺で悪臭が発生
- 富栄養化が原因とみられる水質の悪化



クラウドファンディング型ふるさと納税・
企業版ふるさと納税を活用して
しのぶ池をきれいに！

目標金額

500万円（事業費の一部に充当）

クラウドファンディング型ふるさと納税：300万円
企業版ふるさと納税：200万円

スケジュール

- R8年度
- ・クラウドファンディング募集
 - ・しのぶ池の水抜き
 - ・池底清掃イベント

- R9年度
- ・池の水入れ
 - ・護岸補修

